

# 資料を通してみる シュネーダーの信仰と思想



本学三校祖の一人シュネーダーが、どのような教育を受け、それを学生にどのように伝えたのか。また日本社会についてどのように理解していたのかを、史料を通して一緒に学びましょう。

**第1回：1月10日（土）14時～16時**  
シュネーダーと日本社会  
：宣教師の異文化理解

**第2回：1月24日（土）14時～16時**  
シュネーダーと学生たち  
：宣教師と人格教育

**場所（第1回・2回とも）**

東北学院大学/土樋キャンパス  
/中央図書館5F視聴覚室

**講師：藤野雄大（東北学院大学文学部総合人文学科准教授）**

専門はアメリカ教会史、アメリカ文化論。Calvin Theological Seminary (Th.M) 修了。東京神学大学大学院博士課程後期単位取得済み退学。  
(メッセージ)

東北学院大学に着任して以降は、本学および東北地方のキリスト教の歴史に関する研究も個人的に関心を持って続けてきました。19世紀末から20世紀初頭におけるアメリカ教会史の流れの中で、シュネーダー先生ら東北学院や東北地方で活躍した宣教師たちの思想や信仰を位置づけることを試みています。



お申し込みはコチラ（定員40名）  
(又は下のメールで松村まで)



お問い合わせ

東北学院大学図書館 担当：松村尚彦  
✉ matsumura@mail.tohoku-gakuin.ac.jp